

ローラーミル

わが国で初めて開発された、**縦型遠心式ミル**。処理物の性状、処理粒度などによりRM16~RM80Gの各型式をご用意。

■特長

- 乾式連続微粉碎で自動運転ができ、粉塵の飛散がない。また、シャープな粒度分布が得られ、消費電力も抑えられる。
- 熱風使用により乾燥粉碎が可能。
- 設置スペースが少なく配置も立地条件により多様な計画が可能。
- 中間粒子が効率よく得られ、異質物の分離もはかれる。また、摩耗対策も容易。
- 製品のサイズによりパラ型、ハイサイド型、ローサイド型があり、それぞれの能力により9機種をご用意。
ミルの本体動力：3.7~315kw

■粉碎実績例

SiC、クレイ、ベントナイト、石炭、鉱物全般、産廃物やリサイクル化への対応。建材(木片入りセメントボードからの木片の分離回収、スレート、繊維入りボードのリサイクル等)、焼却灰、シュレッダーダスト乾留品の粉碎等。

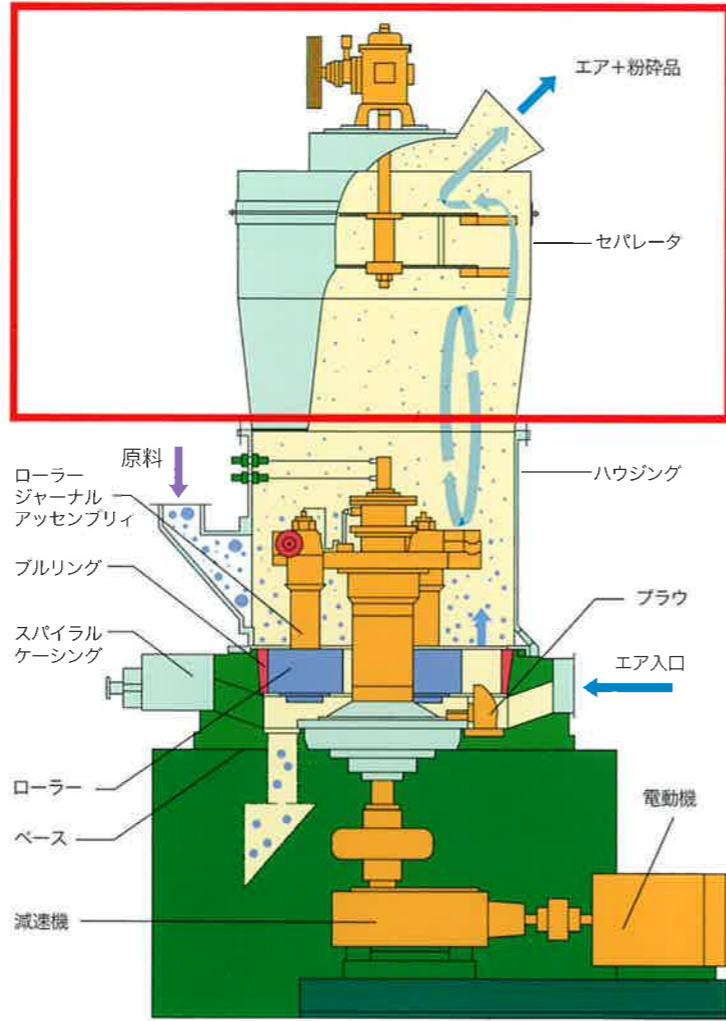
■特殊仕様機種

GS型ローラーミル	ローラーとブルリングが非接触。低振動・低騒音対応型。
NCミル	低騒音・低振動対応型。且つ、各種セラミックスを使用しコンタミを防止。
ロールサンダー	粗破碎用のローラーミル。ブルリング下部のグレードにより粒度調整。また、低振動・低騒音型のCSミルもある。
ソフトミル	こんにゃく専用粉碎機。マンナン粉碎・精製(澱粉質の分離)を効率よく行います。

■仕様

ミル型式	ローラー本数	ローラーミル動力(kW)	パラ型		ハイサイド型		ローサイド型	メインファン(m³/min)	バッグフィルタ m²	ベントファン(m³/min)
			セパレータ動力(kW)	能力(t/h)-45μm99.9%	セパレータ動力(kW)	能力(t/h)-45μm95%				
RM16	2	3.7	2.2	0.1	1.5	0.21	0.46	27	4.5	4
RM22G	3	11~15	2.2~3.7	0.35	2.2	0.75	1.6	75	11.6	10
RM36	3	30	5.5~7.5	0.67	5.5	1.45	3	140	18.2	20
RM36G	3	30~37	7.5~11	1.02	5.5	2.15	4.5	180	22.1	25
RM50	4	45~55	11~15	1.65	11	3.6	7.6	250	35.6	35
RM56	5	75~90	15~22	2.35	15	5.2	11	350	51.5	45
RM56G	5	90~110	18.5~22	3.5	15	7.7	16	450	51.5	55
RM65G	5	185~220	30~37	5.6	22	12.2	26	600	68.6	75
RM80G	6	250~315	37~45	8.4	30	18	38	900	102.9	110

※能力は石灰石を-45μm99.9%以上、-45μm95%、-250μm90%に粉碎する場合を示します。

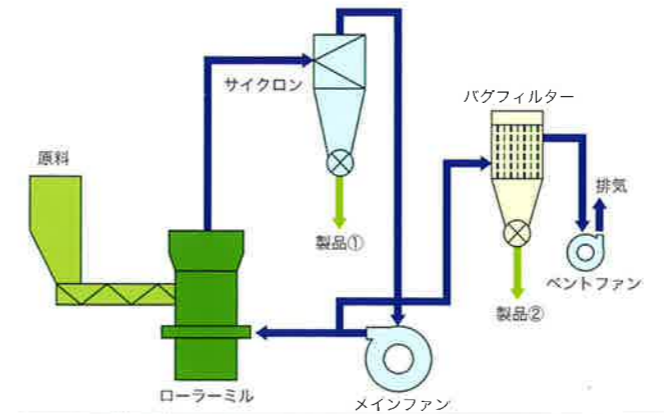


ミルマウント型セパレータ

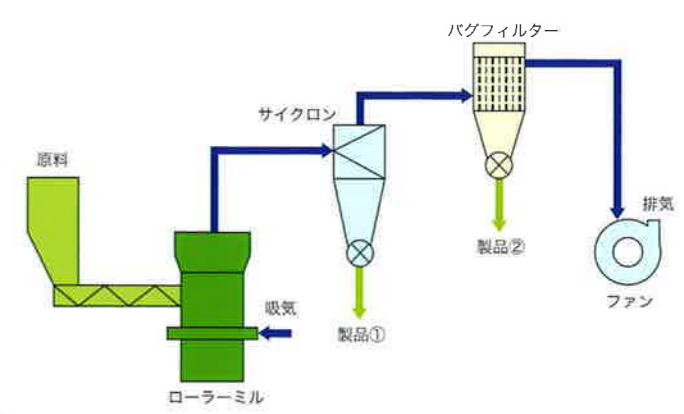
パラセパレータ	ハイサイドセパレータ	ローサイドセパレータ
-45μm 90%以上の微粉碎	-45μm 95%までの粉碎	-850μm 95%から-75μm 75%程度の粉碎
ケージ型分級ロータ搭載し、効率よく分級します。	円板にブレードが取り付けられ回転数の変更により分級点を調整します。	シングルコーン型で主にデフレクターで気流の向きを変えて分級します。

代表的フローチャート

■クローズドサーキット例
もっとも一般的なフローです。

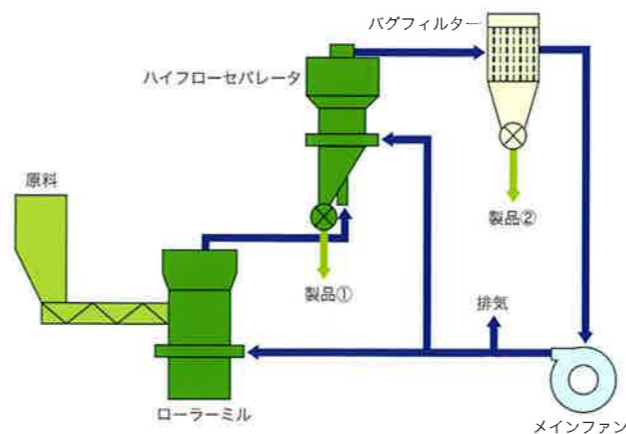


■オープンサーキット例
原料が高温の場合に適用されます。



■ハイフローセパレータ採用例

ハイフローセパレータでよりシャープに再分級することもできます。



適応機種

